

F SPORT PARTS(TRD)

MS341-78001/2/3

フロントスポイラー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)フロントスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS341-78001-A0	ソニックオーツ (085)	NX 200t F SPORT	AGZ10/15	'14.08 ~	
MS341-78001-B2	ソニックアトム (1J7)				
MS341-78001-C0	ブラック (212)				
MS341-78001-A1	ホワイトノグ アガラスレク (083)	NX 300h F SPORT	AYZ10/15		
MS341-78001-C2	グレアイトブラックガラスレク (223)				
MS341-78002-00	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS341-78003	共通品 (212)				

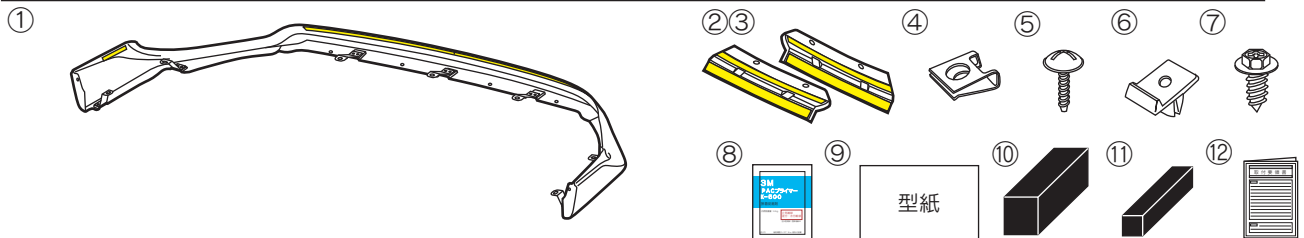
*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。
他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	別ピースBR		1	
③	別ピースBL		1	
④	Jナット		8	M5用
⑤	タッピングスクリュー		8	5×16
⑥	グロメット		3	M6用
⑦	タッピングスクリュー		3	6×16
⑧	PACプライマー		1	K500
⑨	型紙		1	A3シール
⑩	クッションA		2	t=30 w=40 l=200
⑪	クッションB		1	t=10 w=10 l=200
⑫	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS341-78002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑬	別ピースA		1	
⑭	リベット		4	黒色






以下、MS341-78002-00 (未塗装品セット) のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

- △ 警告 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
- △ 警告 エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
- △ 警告 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
- △ 警告 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
- △ 警告 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
- △ 警告 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- △ 警告 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。
- △ 警告 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
- △ 警告 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
- △ 警告 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
- △ 注意 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。
- △ 注意 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。
- △ 注意 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
- △ 注意 未塗装品セット (MS341-78002-00) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
- △ 注意 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA※又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
- △ 注意 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げると、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
- △ 注意 車両部品の脱着および車両へのフロントスポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
- △ 注意 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
- △ 注意 お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
- △ 注意 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

※IPA=イソプロピルアルコール

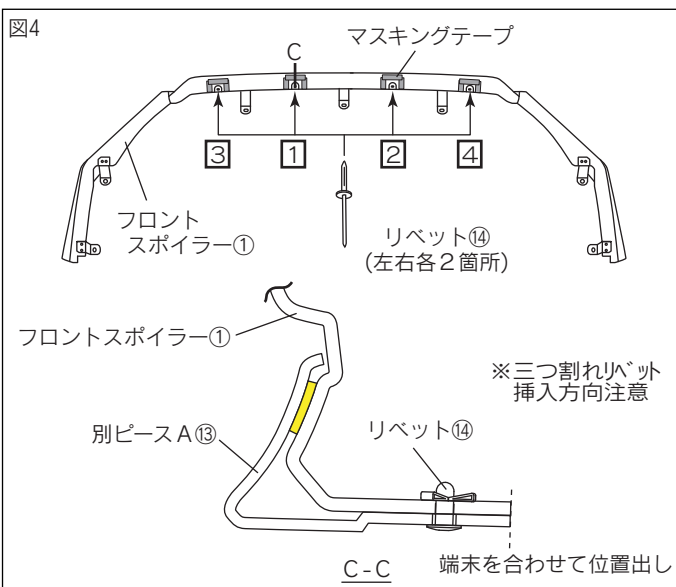
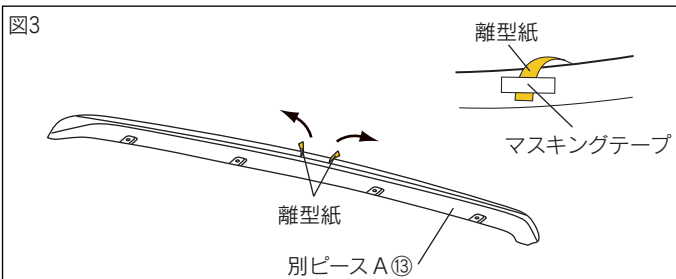
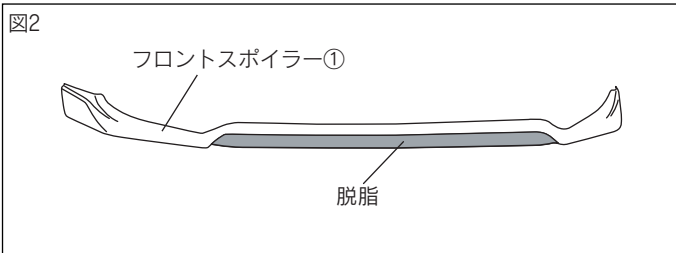
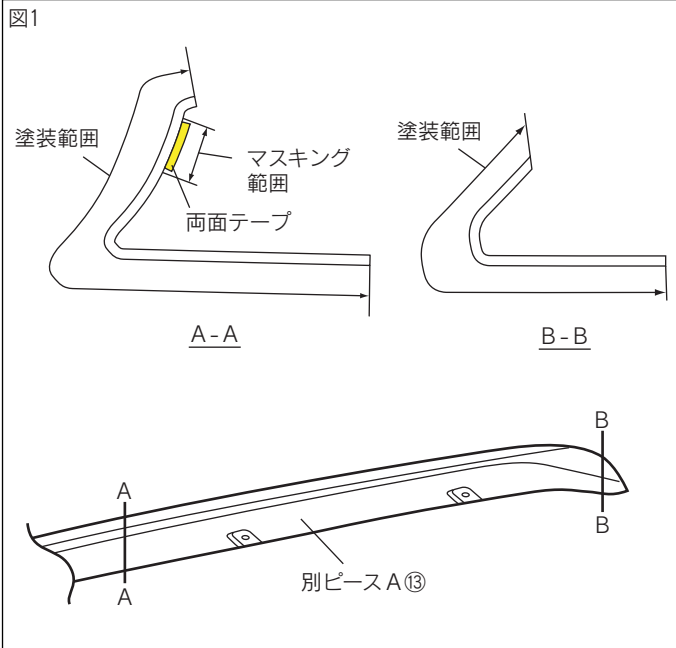
本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。(3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-78002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様に行ってください。

□別ピースAの塗装

1. 図1のように別ピースA⑬を車両色に塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：両面テープは、絶対に塗装しないでください。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□別ピースAの組付け

1. 図2のように別ピースA⑬組付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、10分以上乾燥させてください。

2. 別ピースA⑬の両面テープの離型紙を、図3のように中央から約30mm剥がし、マスキングテープ等で表面に貼付ける。
(左右各1箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。

3. 別ピースA⑬をスポイラー①にかぶせ、図4のようにリベット⑭取付け部周辺の別ピースA⑬をマスキングテープ等でマスキングする。
(左右各2箇所)

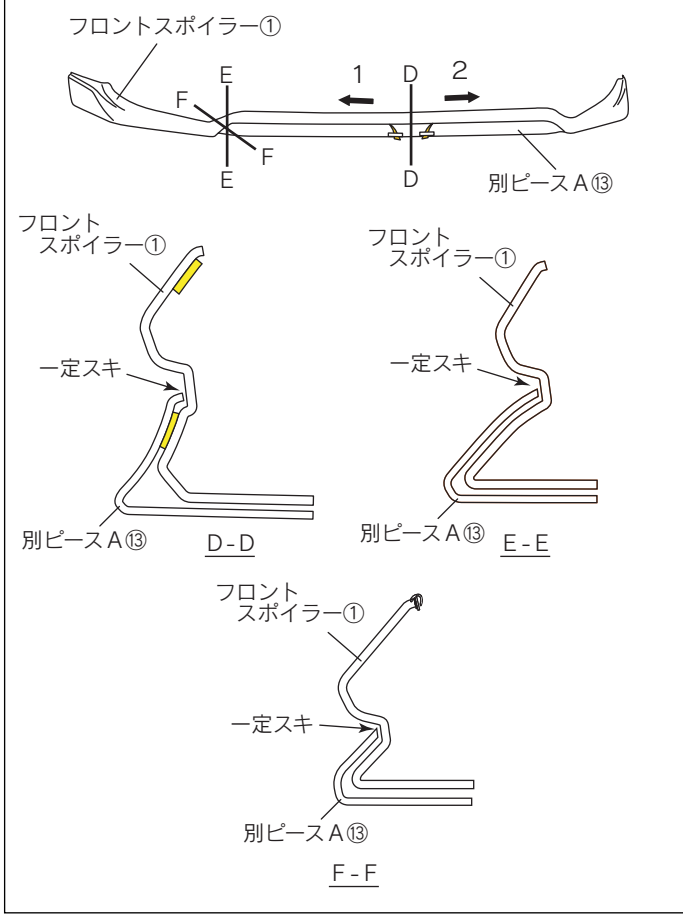
4. 図4の順番でリベット⑭を取付ける。
(左右各2箇所)

△注意：マスキングをせずにリベットの取付けを行うと、フロントスポイラー①及び別ピースA⑬を傷付ける可能性があります。

△注意：フロントスポイラー①に振れの無い状態で別ピースA⑬の取付け、貼付けを行ってください。

5. マスキングを剥がす。

図5

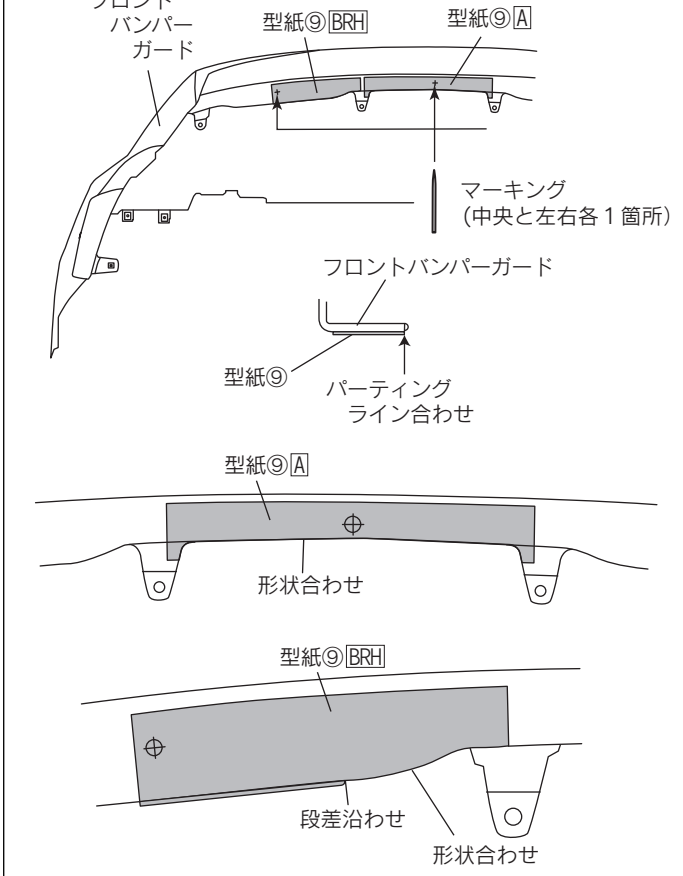


※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

6. 図5のようにスポイラー本体①と別ピースA③のスキが一定である事を確認し、別ピースA③の両面テープの離型紙を図の順番に剥がして貼付け、圧着する。
 { 49N (5kgf) 以上 }
 (左右各1箇所)

- △注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
- △注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にして下さい。
- △注意：両面テープの離型紙を図5で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。
- △警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。
- △注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

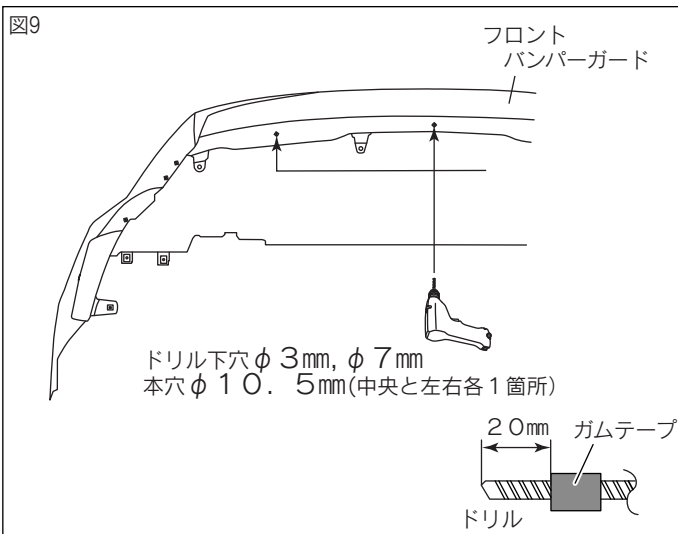
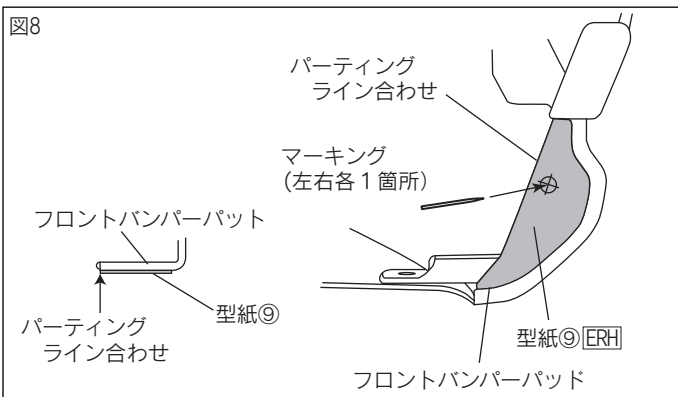
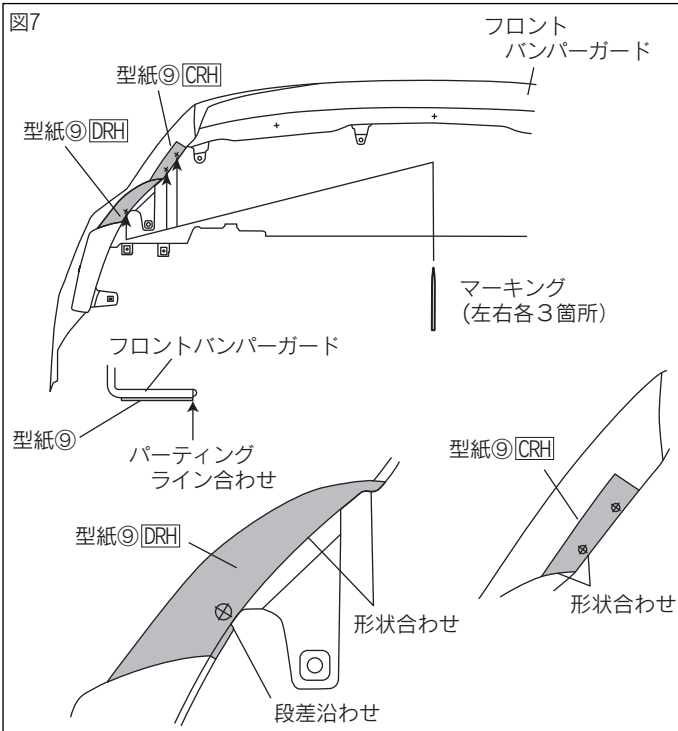
図6



□取付準備

1. 型紙⑨A|BRH|BLHを台紙から剥がし、図6のようにフロントバンパーガードの下面部に貼付け穴センターをマーキングする。
 (中央と左右各1箇所)

- △注意：型紙の末端がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼直して下さい。
- 👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、フロントスポイラー①を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

2. 型紙◎ [CRH] [CLH] [DRH] [DLH] を台紙から剥がし、図7のようにフロントバンパーガードの下面部に貼付け、穴センターをマーキングする。(左右各3箇所)

△注意：型紙の末端がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼直してください。

👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、フロントスポイラー①を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

3. 型紙◎ [ERH] [ELH] を台紙から剥がし、図8のようにフロントバンパーガードのホイールハウス部パッドに貼付け、穴センターをマーキングする。(左右各1箇所)

△注意：型紙の末端がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼り直してください。

👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、フロントスポイラー①を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

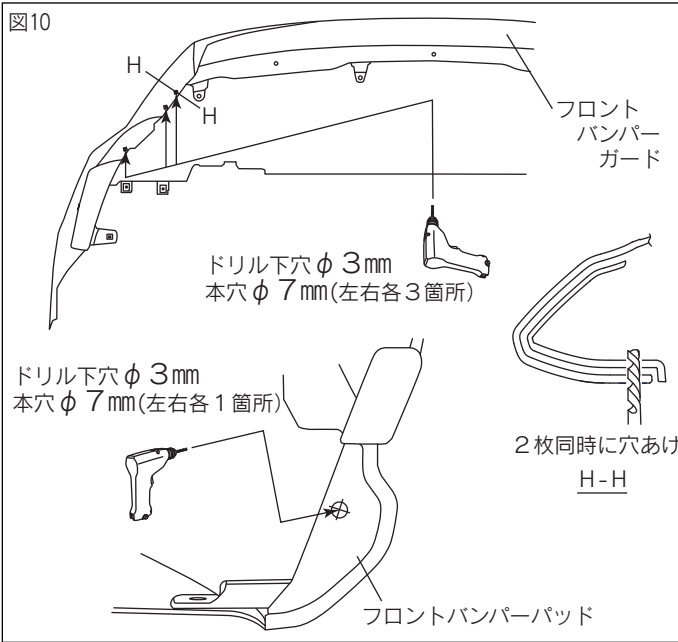
4. 全ての型紙を剥がし、図9のようにφ3mm、φ7mm、φ10.5mmのドリル先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻き付け、φ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してフロントバンパーガード下部のマーキング位置に下穴をあける。(中央と左右各1箇所)

5. 図9のように下穴にφ10.5mmのドリルでフロントバンパーガードに本穴をあけ、穴のバリを取除く。(中央と左右各1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様になってください。

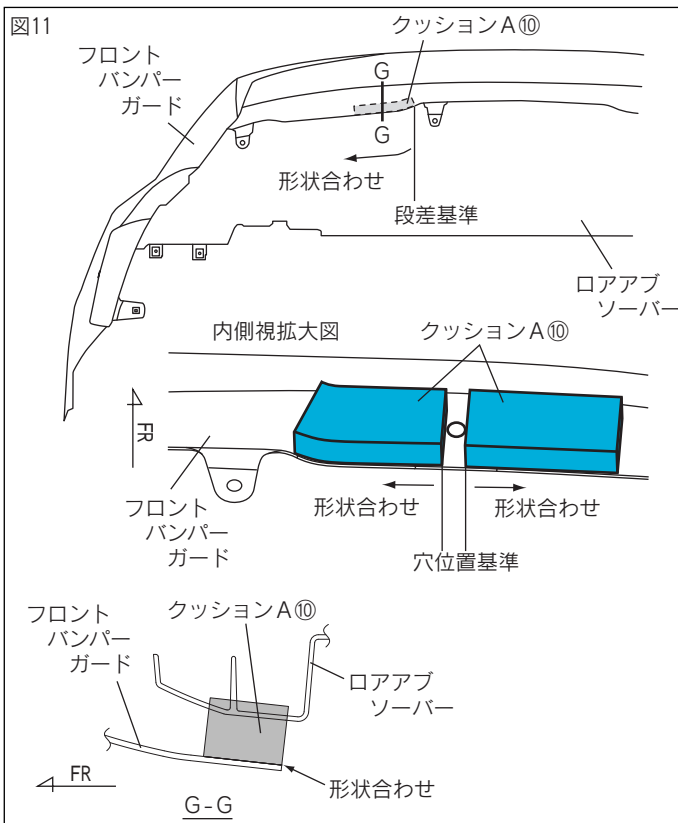
6. 図10のようにφ3mmのドリルを使用してフロントバンパーガード下部とホイールハウスのマーキング位置に下穴をあける。
(下部左右各3箇所)
(ホイールハウス部左右各1箇所)
7. 図10のように下穴にφ7mmのドリルでフロントバンパーガードをアンダーカバーとともに本穴をあけ、穴のバリを取除く。
(下部左右各3箇所)
(ホイールハウス部左右各1箇所)

△注意：本穴をあける際に、フェンダーライナーまで穴あけをしないと製品が取付けられなくなります。

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

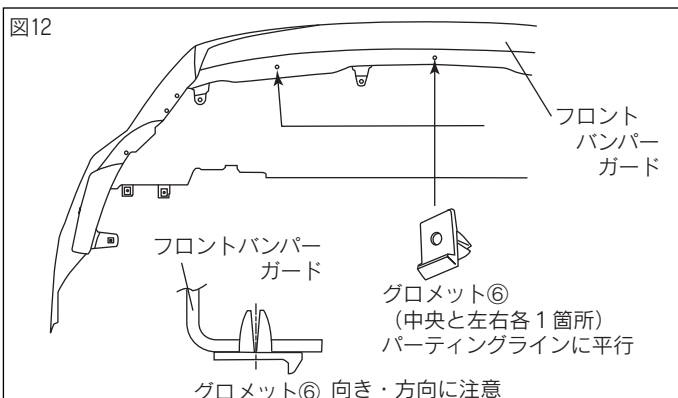


8. 図11のようにフロントバンパーガード下部内側のクッションA10取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。
(左右各1箇所)

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

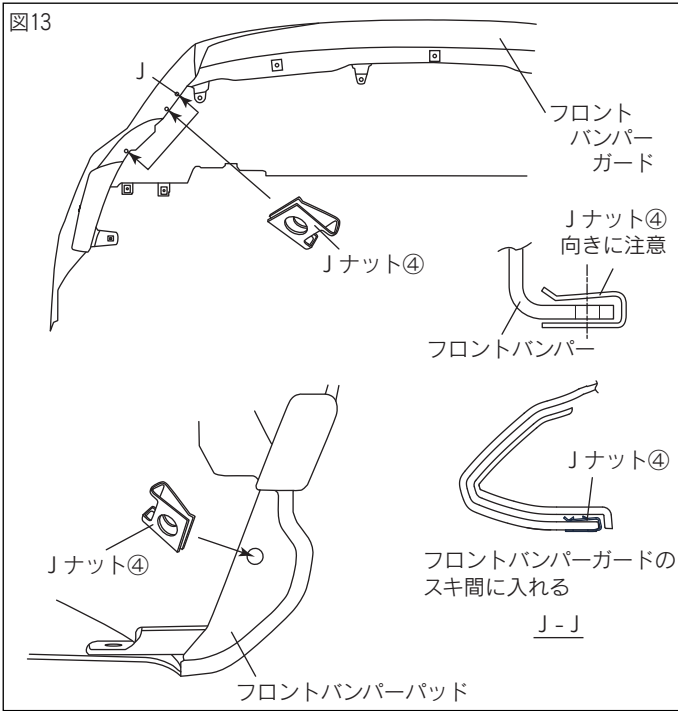
9. クッションA10を半分に切り、図11のようにフロントバンパーガード下部内側とロアアブソーバーに挟むようにクッションA10を貼付ける。
(左右各2箇所)

△警告：クッションA10の貼付け作業は、必ず修理書に従いロアアブソーバーを外して行って下さい。



10. 図12のようにフロントバンパーガード下部の穴にグロметト6を差し込む。
(中央と左右各1箇所)

△注意：グロметト6の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとフロントスポイラーが取付かなくなります。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様になってください。

11. 図12のように本穴をあけた下部とホイールハウス部穴に、Jナット④を差込む。
(下部左右各3箇所)
(ホイールハウス部左右各1箇所)

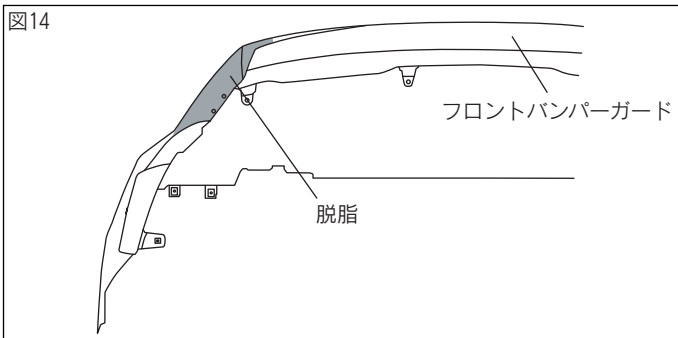
△注意：Jナット④の差込む向きに注意してください。逆に取付けるとフロントスポイラー①が取付かなくなります。

👉アドバイス：Jナット④の差込む際、周辺の車両止め点を外しておくと差込みやすくなります。

12. 図14のようにフロントバンパーガード下部の取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。
(左右各1箇所)

△警告：ポディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



13. 図15のようにフロントバンパーガードの製品両面テープ貼付け部の外周にマスキングテープを貼ってください。
(中央と左右各1箇所)

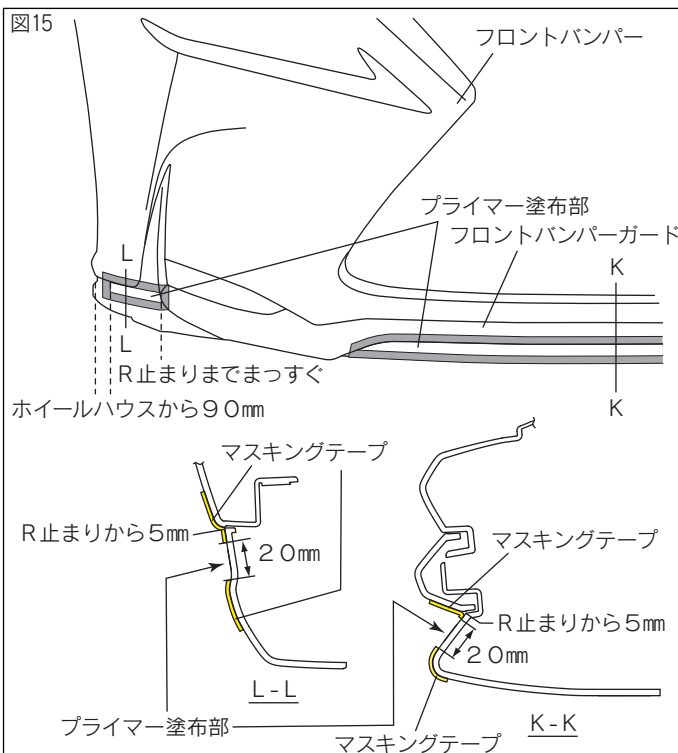
14. 図15のようにフロントバンパーガードの製品両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500®を塗布する。
(中央と左右各1箇所)

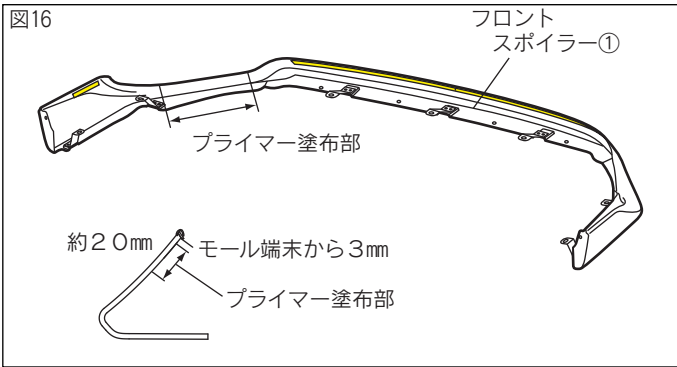
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーはマスキングテープ外側にはみ出すと、シミの原因になりますので注意してください。

△注意：PACプライマーK-500®は後工程で再使用しますので、捨てない様に必ず保管してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

15. マスキングを剥がす。
(中央と左右各1箇所)



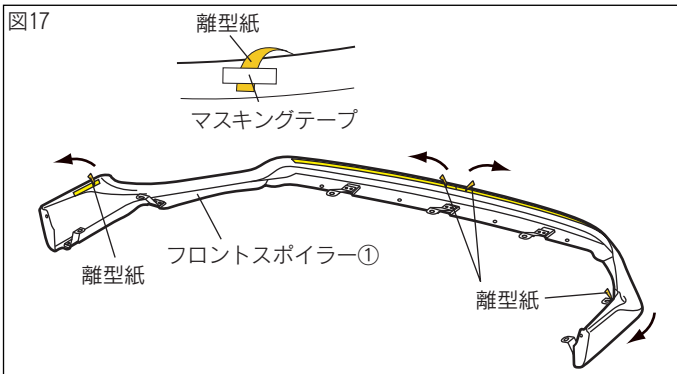


※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様になってください。

16. 図16のようにフロントスポイラー①両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑧を塗布する。
(左右各1箇所)

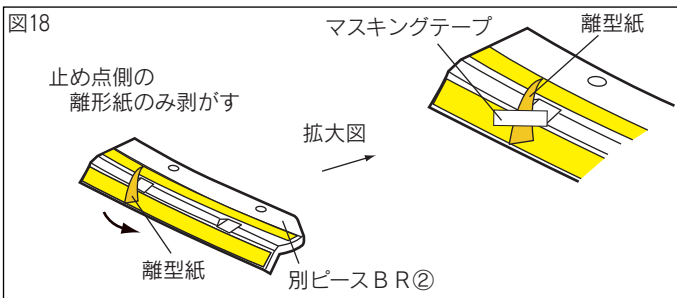
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



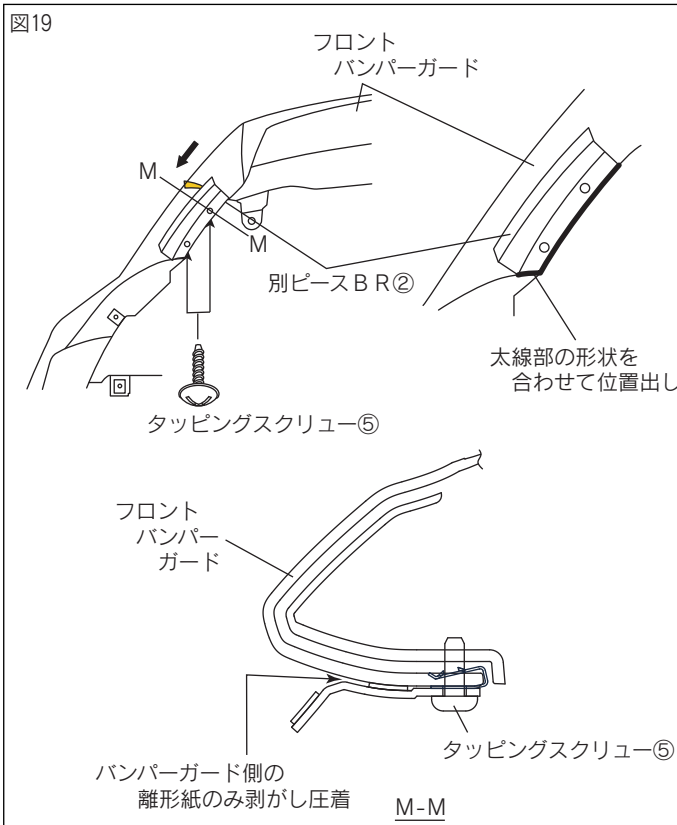
17. フロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、図17のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。



18. 別ピースBR/BL②③の両面テープの離型紙を、図18のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各1箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。



19. 図19のようにフロントバンパーガードに別ピースBR/BL②③を合わせ、下部をタッピングスクリュー⑤で仮締める。
(左右各2箇所)

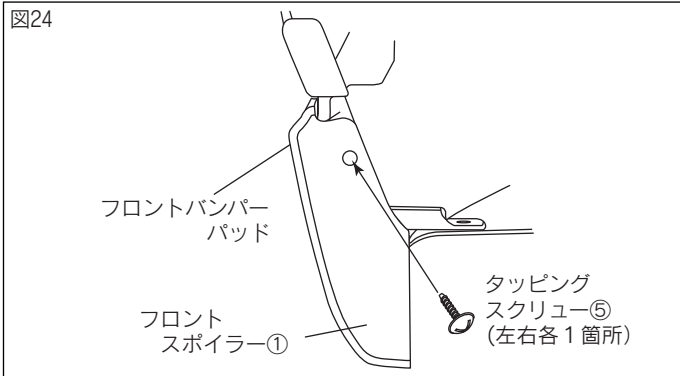
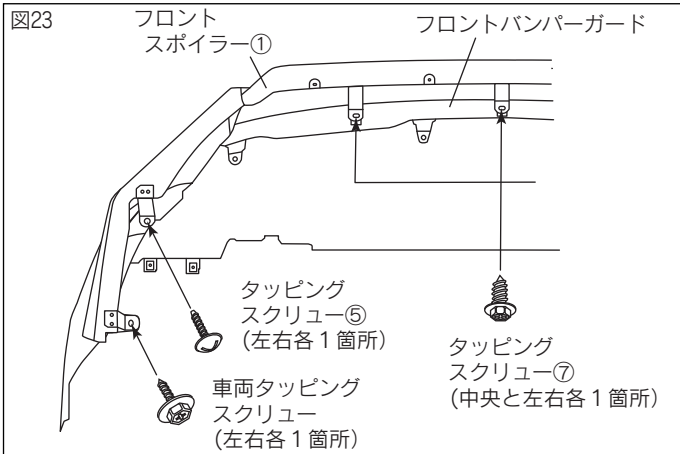
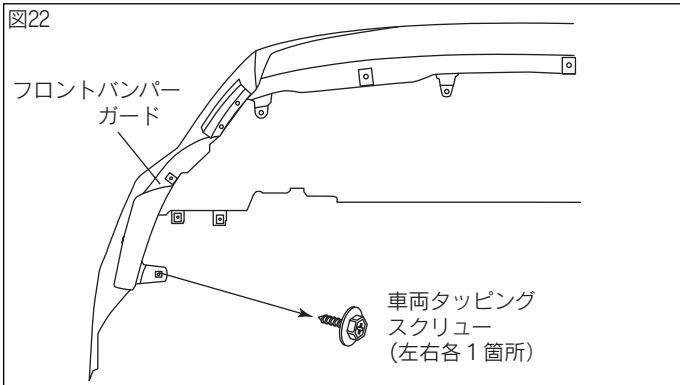
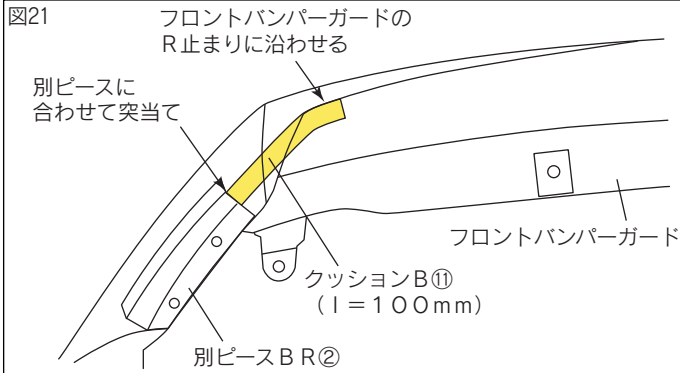
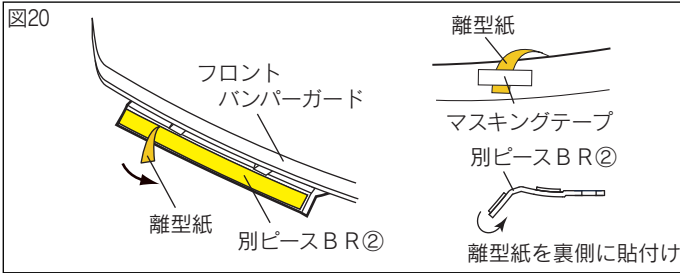
20. 図19のように別ピースBR/BL②③止め点側両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。
(左右各1箇所)
{49N(5kgf)以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にして下さい。

△警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

21. 仮締めしているタッピングスクリュー⑤を本締めする。(左右各2箇所)
22. 別ピースBR/B L②③の両面テープの離型紙を、図20のように矢印の向きに約30mm剥がし、マス킹テープ等で裏側に貼付ける。(左右各1箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。

23. クッションB⑪を半分に切り、図21のように別ピースBR/B L②③の横に貼付ける。(左右各1箇所)

△注意：フロントスポイラー①を取付け後、外側にはみ出ない位置に貼付けてください。

24. 図22のようにフロントバンパーガード下部を固定している車両タッピングスクリューを取外す。(左右各1箇所)

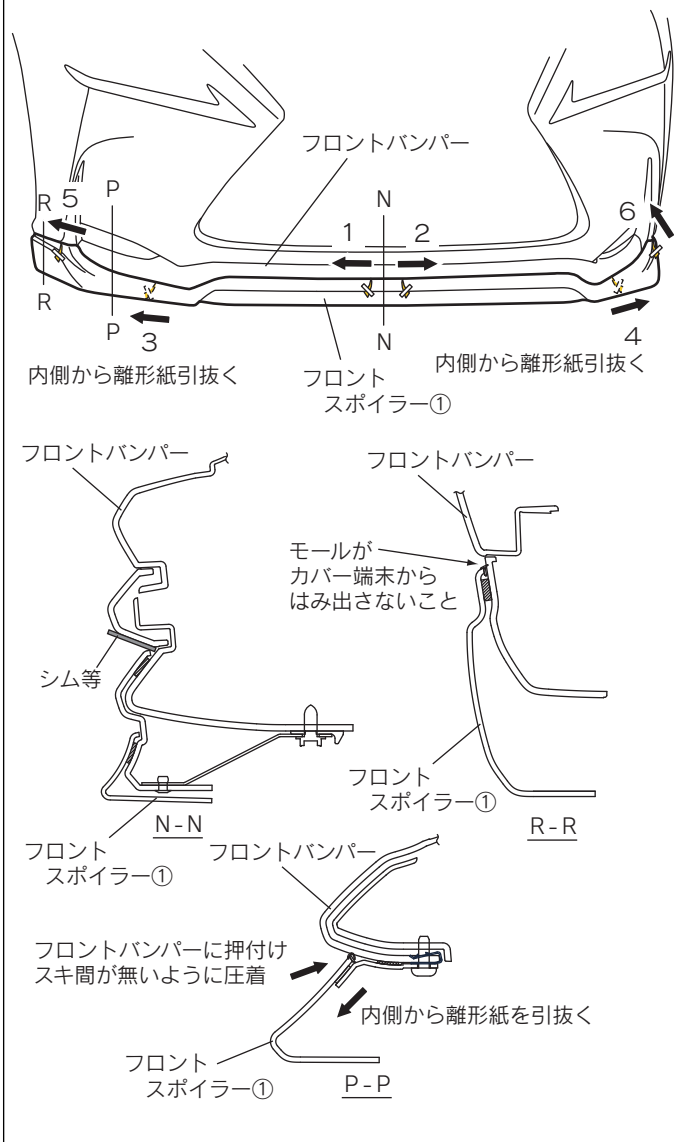
△注意：取外した車両タッピングスクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

□取付要領

1. 図23のようにフロントバンパーガードにフロントスポイラー①を合わせ、下面をタッピングスクリュー⑦(中央と左右各1箇所)、タッピングスクリュー⑤(左右各1箇所)、車両タッピングスクリュー(左右各1箇所)を仮締めする。

2. 図24のようにホイールハウス部をタッピングスクリュー⑤で仮締めする。(左右各1箇所)

図25



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様につけてください。

3. 図25を参考に、フロントスポイラー①のセンターに厚さ2mmのシム等を挟み高さ位置を出し、両面テープの離型紙を図の番号順に剥がしながら貼付け、圧着する。
 { 49N (5kgf) 以上 }
 (左右各3箇所)

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にして下さい。

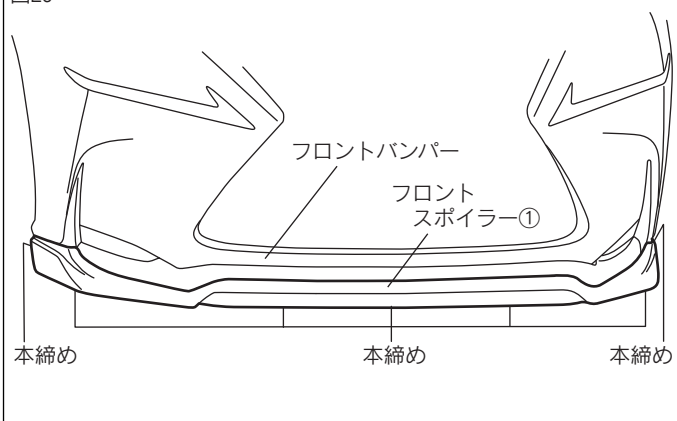
△注意：両面テープの離型紙を図25で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：厚さ2mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約2mmのワッシャー等で代用してください。

図26



4. 図26のように下面部を仮締めしているタッピングスクリー⑤⑦、車両タッピングスクリーを本締める。
 (中央と左右各2箇所)

5. 図26のようにホイールハウス部を仮締めしているタッピングスクリー⑤を本締める。
 (左右各1箇所)

△注意：タッピングスクリー⑤を本締める際、フロントバンパーに押当てながら、モールとフロントバンパーにスキがないことを確認してタッピングスクリー⑤を本締める。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがタッピングスクリーにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。